

静岡県の学校図書館

令和2年3月発行
総合教育センター
生涯学習企画課
生涯学習推進班

学校図書館指導計画・その他学校図書館活用に関する計画

新学習指導要領では、学校図書館を活用した情報活用能力の育成を目指し、学校全体として体系的に指導するよう促しています。そのためには、教育課程との関連を踏まえた「学校図書館指導計画」を作成することが求められます。この指導計画について紹介します。

計画作成にあたっては司書教諭の働きも重要ですが、各教科の教員、管理職、学校司書など、学校全体で協力し、取り組む必要があります。各学年、各教科において、図書や新聞や雑誌、インターネットなどの図書館にある様々な情報メディアを活用する学習単元等を抽出し、指導計画を作成します。

次の表1は実際の計画例です。学校によって、項目や内容は異なります。

表1

図書館指導 年間指導計画								
※毎週月曜日・木曜日は読書タイム（読書・読み聞かせ） ＊学期始めに、図書担当が授業に入る教材を相談する。								
	I なかまづくり			II きたえる		III かがやく		
	4月	5月	6月	7月	8 9月	10月	11月	
一 年	生「がっこうだいすき」本となかよくなるろう としよしたんけん	生「はないっばいになあれ」 生「なつやさいをそだてよう」	生「くさはなあそび」	国「おはなしのくに」日本の言語	国「読書感想文を書こう」	国「はたらくじどうしゃ」 生「あきとあそぼう」 国図「読書感想画に挑戦しよう」	国「のりもののおもしろさをしらせよう」 生「あきとあそぼう」	国「つえ
二 年	生「学校のまわりのたんけん」	生「川根の春マップ」「やさいを育てよう」	国「すみれとあり」「鳥のちえ」 国「図書館へ行こう」 生「生きものの快話」「川であそぼう」	生「すいぞくかんをつくらう」	生「そはの育て方」国「読書感想文を書こう」 国「きつねのおきやくさま」	国「さけが大きくなるまで」 生「わくわく秋祭りをやろう」 国図「読書感想画に挑戦しよう」	国「本の世界を素しもう」 お話しじゅつかんを作らう 国「生きものふしぎずかん」	国「
三 年	理「しぜんたんけんたねをまこう」 社「探検しよう」	社「川根の自慢について調べよう」（ホテルの本、お茶の本、川根の言語の本など） 社「もっと調べてみたいな」 理「チョコを育てよう」	国「国語じてんの引き方」 国「観察したことを」 理「こんちゅうを調べよう」	国「詩を書こう」 国「メダカ」 理「日次をひらこう」 理「ぼく・わたしの自由研究」	理「太陽のうごき調べよう」 国「読書感想文を書こう」 国「わすれられないおくりもの」 社「お茶名人になろう」	国「夕日がせなかをおしてくれる」 社「店を調べよう」 国図「読書感想画に挑戦しよう」 社「お茶名人になろう」	社「調べよう 物をつくる仕事」 理「豆電球にあかりをつけよう」 社「お茶料理を作らう」	国「し合

【「学校図書館利活用授業年間計画例」静岡県生涯学習情報発信システム「まなぼっと」より】

また、学校図書館活用に関する計画は、指導計画以外に表2のようなものがあります。

表2

その他学校図書館活用に関する計画(例)	
学校図書館経営方針	学校図書館の運営、組織、活用、整備等についての具体的な方針
学校図書館全体計画	各学校の教育活動全体を通して学校図書館の活用を図るための方策を示した計画
学校図書館運営計画	図書館運営や図書館行事計画を中心に、図書館主任、司書教諭、学校司書、学級担任などが行う活動内容を示す計画

参考資料

学校図書館指導計画を作成するにあたって、参考となる資料を紹介します。他の学校の計画例なども掲載されていますので、必要に応じてご覧ください。

【図書・雑誌】

『「学校図書館ガイドライン」活用ハンドブック 解説編』堀川照代／編著 出版:悠光堂 2018年

『学校図書館活用あらかわモデルプラン』荒川区／編 出版:国土社 2013年

【インターネットで見られる情報】

『「図書館活用を計画する」ってどうするの?』「先生のための授業に役立つ学校図書館活用データベース」より
<http://www.u-gakugei.ac.jp/~schoolib/htdocs/index.php?key=joi3ra2pb-46>

『学校図書館利活用授業年間計画例』静岡県生涯学習情報発信システム「まなぼっと」より

<https://www.manabi.pref.shizuoka.jp/info/5529?from=list&schoolLibrary=1&oldData=1&page=3>

静岡聴覚特別支援学校の読書環境整備と 学校図書館の活性化について【研究実践報告】



本年度、静岡聴覚特別支援学校では、県教育委員会の指定を受け、「本に興味を持ち、本が好きになり、本をもっと読みたい」という子どもたちを増やすための読書環境の整備と学校図書館の活性化について、研究実践が行われました。その取組について紹介します。

まず、年間を通して行われた取組は、成人ろう者や外部ボランティア、同校中学部生徒などによる読み聞かせの実施です。

このうち中学部生徒による読み聞かせは、彼らが低年齢の子どもに接する際の、意識向上を図る良い機会にもなっています。

また、読書月間には、子どもたちが本の紹介カードを作成、公開するなどの読書推進活動が行われました。更に中学部では、学校図書館の本と公共図書館の団体貸出本を合わせた図書コーナーを新設し、読書支援を進めると共に、コーナーを利用した調べ学習を取り入れた授業が行われました。

学校を訪ねた際には、図書室内だけでなく校内のあちこちで、読み聞かせに使われた本の展示や季節を取り入れた展示が行われ、子どもたちが本に興味をもつための様々な仕掛けが見られました。

学校の先生方や保護者、ボランティアの方々の熱心な活動により、同校では学校図書館を利用する子どもが増加しました。また、読書活動を通して人との関わりが広がることも期待されています。

小学校国語教科書掲載図書の展示について

現在あすなろ図書室では、令和2年度から静岡県で使用される小学校国語教科書に掲載された図書の一部を展示しています。実際に手にとってご覧いただき、学校図書館への購入検討や、子どもたちへの読書案内などにお役立てください。



静岡県総合教育センター生涯学習企画課生涯学習推進班(あすなろ図書室)

電話：0537-24-9715 メール：sogokyoku-shougaiikaku@pref.shizuoka.lg.jp